

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	倉敷市地域住宅等整備計画，倉敷市地域住宅等整備計画（防災・安全）
②都道府県名	岡山県
③計画作成主体	倉敷市
④計画期間	平成22年度～26年度
⑤計画の目標	歴史・文化や地域の特性を活かした住み良い『倉敷の住生活』が享受できるまちを目指し，安心して住み続けることができ，誰もが住み良い居住環境を守り・育む，住まい・まちづくりを進める。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	倉敷市において評価を行う・平成27年5月
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「高齢者対応型共同住宅の供給」 定義：高齢者向け優良賃貸住宅及び地域優良賃貸住宅（高齢者型）の整備戸数 評価方法：整備実績による 結果：従前値：50戸（21年度）⇒目標値：80戸（26年度）⇒<u>実績値：92戸</u> 結果の分析：平成24年度から新たにサービス付き高齢者向け住宅の整備補助を実施した結果，平成26年度末の整備戸数は92戸となり，目標を上回った。</p> <p>指標②：「公営住宅の居住水準の向上」 定義：公営住宅等（市による共同アンテナ設置団地）の地上デジタル放送対応済み戸数の割合 評価方法：整備実績による 結果：従前値：68.4%（21年度）⇒目標値：100%（26年度）⇒<u>実績値：100%</u> 結果の分析：市内の公営住宅等について改修工事を実施した結果，平成26年度末の改修済み戸数の割合は100%となり，目標を達成できた。</p> <p>指標③：「公営住宅の居住水準の向上」 定義：公営住宅等の火災警報器設置戸数の割合 評価方法：整備実績による 結果：従前値：64.7%（21年度）⇒目標値：100%（26年度）⇒<u>実績値：97.9%</u> 結果の分析：市内の公営住宅等について改修工事を実施した結果，平成26年度末の改修済み戸数の割合は97.9%となり，わずかに目標に届かなかったが，概ね目標を達成できた。</p> <p>指標④：「公営住宅の居住水準の向上」 定義：公営住宅等の躯体の長寿命化（屋上防水等）対応済み戸数の割合 評価方法：整備実績による 結果：従前値：12.4%（21年度）⇒目標値：34%（26年度）⇒<u>実績値：40.5%</u> 結果の分析：市内の公営住宅等について改修工事を実施した結果，平成26年度末の改修済み戸数の割合は40.5%となり，目標を達成できた。</p>
⑧結果の公表方法	倉敷市ホームページに公表

3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

<p>⑨今後の住宅施策の取組への反映</p>	<p>指標①：「高齢者対応型共同住宅の供給」について 高齢者対応型共同住宅の整備目標は達成しているが、高齢者世帯数に対し、依然、高齢者対応型共同住宅戸数は不足している状況にあるため、引き続き、倉敷市住生活基本計画に基づき、サービス付き高齢者向け住宅の供給等を推進する。</p> <p>指標②, ③, ④：「公営住宅の居住水準の向上」について 本計画の公営住宅の居住水準の向上は概ね達成できている。しかしながら、公営住宅のうち耐用年数の1/2を経過するものが多いため、引き続き、倉敷市営住宅等長寿命化計画に基づき、躯体の長寿命化（屋上防水工事等）等を推進する。</p>
------------------------	---

※この事後評価は社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。